

## 『農学職 パーフェクト演習講座 園芸学』(KU20262)

## 訂正表

2023年4月25日現在

ページ	訂正箇所	訂正内容		掲載日
P. 90	[No. 12] 解説肢2	誤	2 × トマトの果房は葉を8枚程度分化したのち、主枝の先端に分化する。	2023/4/25
		正	2 × トマトの第1花房は、葉を8枚程度分化した後、主枝の先端に分化する。これは本葉2～3枚展開時である。 ※問題文の「葉」は、[No. 4]の肢1のように「本葉」がより適切と考えられます。	
P. 104	[No. 39] 解説7～9行目	誤	ア 水分とカロテンが多いので、トマトとわかる。 イ ウと比べて、ビタミンCが多いところからホウレンソウとわかる。 ウ イがホウレンソウなので残りのレタスとわかる。	2023/1/19
		正	ア 鉄分が多いので、ホウレンソウとわかる。ホウレンソウは、野菜のうちで鉄分が最も多く含まれている。 イ ウと比べて、βカロテンとビタミンCが多いところからトマトとわかる。 ウ イと比べて、葉酸が多いところからレタスとわかる。	
P. 126	[No. 86] 解説3～4行目	誤	また近赤外光は赤色光による光中断効果を消去する。この赤 近赤外光の効果はフィトクロムを介しており、可逆的である。	2020/3/10
		正	また遠赤色光は赤色光による光中断効果を消去する。この赤 遠赤色光の効果はフィトクロムを介しており、可逆的である。	

※「掲載日」は、上掲訂正情報がLECホームページの『公務員 テキスト改訂・修正情報一覧』(<http://www.lec-jp.com/koumuin/info/teisei/>)に掲載された日付です。